

〔本体〕

ページ	修正箇所	誤	正
P. 052	第2部 変数 第2章 カウンタ 練習問題 2-2-3 (1)と(2) 流れ図 (線記号)		
P. 088	第3部 擬似言語 第1章 擬似言語とは プログラム 3-1-9 流れ図		
P. 118	第3部 擬似言語 第2章 関数とは プログラム 3-2-2 (再掲)	OcountUp() ヘッダ② 整数型: cnt ヘッダ③ for (cnt を 1 から 5 まで 1 ずつ増やす) cnt を出力 ブロック③ endfor ヘッダ④ ブロック②	OcountUp() ヘッダ② 整数型: cnt ヘッダ③ for (cnt を 1 から 5 まで 1 ずつ増やす) cnt を出力 ブロック③ endfor ヘッダ④ ブロック②
P. 119	第3部 擬似言語 第2章 関数とは 説明文	10行目の「for (cnt を 1 から 5 まで 1 ずつ増やす)」と、for文の終わりを示す12行目の「endfor」がヘッダとして扱われ、このヘッダの間で挟まれた行が対応するブロックとなり、「ヘッダ③のfor文の条件（制御記述）を満たす間、ブロック③の処理を繰り返す」という処理が行われます。	10行目の「for (cnt を 1 から 5 まで 1 ずつ増やす)」がヘッダとして扱われ、そこからfor文の終わりを示す12行目の「endfor」までの間で挟まれた行が対応するブロックとなり、「ヘッダ③のfor文の条件（制御記述）を満たす間、ブロック③の処理を繰り返す」という処理が行われます。

〔本体〕

ページ	修正箇所	誤					正				
P. 133	第4部 基本データ処理 第1章 集計 擬似言語のトレース表	行番号	判定結果	sum	cnt	出力結果	行番号	判定結果	sum	cnt	出力結果
		1	—	—	—		1	—	—	—	
		2	—	領域確保	—		2	—	領域確保	—	
		3	—	未定義	領域確保		3	—	未定義	領域確保	
		4	—	0	未定義		4	—	0	未定義	
		5	true	0	1		5	true	0	1	
		6	—	2 (← 0 + 1 × 2)	1		6	—	2 (← 0 + 1 × 2)	1	
		7	—	2	1		7	—	2	1	
		5	—	2	2		5	true	2	2	
		6	—	6 (← 2 + 2 × 2)	2		6	—	6 (← 2 + 2 × 2)	2	
		7	—	6	2		7	—	6	2	
		5	true	6	3		5	true	6	3	
		6	—	12 (← 6 + 3 × 2)	3		6	—	12 (← 6 + 3 × 2)	3	
		7	—	12	3		7	—	12	3	
		5	true	12	4		5	true	12	4	
		6	—	20 (←12 + 4 × 2)	4		6	—	20 (←12 + 4 × 2)	4	
		7	—	20	4		7	—	20	4	
		5	false	20	5		5	false	20	5	
		8	—	20	5	20	8	—	20	5	20
P. 348	第9部 オブジェクト指向 第1章 オブジェクト指向と クラス 練習問題 9-1-4 問題文と表	(問題文) 次のstrOperationクラスは、文字列を操作するクラスです。					(問題文) 次のStrOperationクラスは、文字列を操作するクラスです。				
		(表のタイトル) クラスstrOperationの説明					(表のタイトル) クラスStrOperationの説明				
		(表のコンストラクタ列) strOperation(文字列型: qStr)					(表のコンストラクタ列) StrOperation(文字列型: qStr)				

〔本体〕

ページ	修正箇所	誤	正
P. 348	第9部 オブジェクト指向 第1章 オブジェクト指向と クラス 練習問題 9-1-4 問題文と擬似言語	(問題文) このstrOperationクラスを利用して, 「innovational」という文字列中に,「n」という文 字が含まれている割合を計算して出力する, 次の擬似 言語の空欄を埋めてみましょう。 (擬似言語) Otraining9_1_4() 実数型: ratio StrOperation: word word ← strOperation("innovational") ratio ← ÷ ratio を出力	(問題文) このStrOperationクラスを利用して, 「innovational」という文字列中に,「n」という文 字が含まれている割合を計算して出力する, 次の擬似 言語の空欄を埋めてみましょう。 (擬似言語) Otraining9_1_4() 実数型: ratio StrOperation: word word ← StrOperation("innovational") ratio ← ÷ ratio を出力

〔練習問題解答〕

ページ	修正箇所	誤	正
P. 090	第9部 オブジェクト指向 第1章 オブジェクト指向と クラス 練習問題 9-1-4 擬似言語	Otraining9_1_4() 実数型: ratio StrOperation: word word ← strOperation("innovational") ratio ← word.simCount("n") ÷ word.length() ratio を出力	Otraining9_1_4() 実数型: ratio StrOperation: word word ← StrOperation ("innovational") ratio ← word.simCount("n") ÷ word.length() ratio を出力